

# 飲み物の自販機を公園に設置します

## 内容まとめ

- ・設置期間は5年間（次回更新も）
- ・アサヒさんと伊藤園さんの自販機
- ・災害対応やWifiなど特徴ある自販機
- ・55公園、93カ所に9月から順次
- ・売上の3割と地代を設置業者から徴収
- ・区に年間約2,500万円が入る見込み

公園法が改正され、公園で飲食店を営業するなど、民間企業が収益を上げながら地域に賑わい作り出し、行政側も維持管理などの負担を軽くすることが出来る事例が全国で生まれています。

マイナスから年間2億5000万円に収益構造を改革した大阪城公園、豊島区にある南池袋公園では、ゴミ回収や掃除管理を受託した地元人気レストランが公園内に飲食施設を開店し、大変な人気です。支出の抑制や収入の確保は、行政サービスの充実、区民福祉の向上に直結します。私は今回の自販機設置を契機に、公共空間の利活用と民間主体のまちづくりの議論が進むことを期待しています。



事例：生まれ変わった南池袋公園（豊島区）



お宅にあるスペースを有効活用！



## 次号 予告

- ・受動喫煙
- ・墨田区の決算状況
- ・保育無償化（予定）

「みんちゅうシェアライン」は、一台でも自転車が止められる場所を持っている土地所有者と、駐輪場を必要としている人を結びつけるスマホアプリで、台東区に続き墨田区も8月、協定を締結しました。民有地をシェアする新しい考え方は、駅周辺の駐輪場不足、放置自転車対策、駐輪場付置義務以前に建設されたマンションの住民用駐輪場の確保等。色々な可能性も、貸したい人も借りたい人もスマホで即登録が可能です。

9月定例会終了後に開催された委員会において、全委員にご賛同頂き、**決算特別委員会委員長を拝命**しました。現在私は行財政改革等特別委員会委員長でもあります。ふたつの特別委員会委員長を兼務するのは、大先輩の中村光雄先生以来の事で、身に余る重責に大変緊張しています。議論の先に見えるであろう墨田区政の新しい景色を目指し、誠心誠意、円滑な議事運営に努めてまいります。

# 飼い主のいない猫「増やさない」事が重要



猫は、一度の出産で4匹～8匹の子を産み、年2回～4回妊娠が可能で、放置すると爆発的に増えてしまいます。不適正な飼育で野良猫が増えると、地域住民の生活環境は悪化します。被害やトラブルから、猫そのものが嫌悪の対象となり、動物虐待を誘発する恐れもあります。猫が好きでない方の立場を尊重しつつ、殺処分等行わず、去勢・避妊で子孫を増やさず飼い主のいない猫を一代限りとするのが「増やさない活動」です。「地域猫活動」とも呼ばれています。地域の秩序を維持して行く上で誰かがやらねばならない活動は、都動物愛護推進委員さん等ボランティアさんの精神的・経済的なご労苦の上に成り立っていると伺います。このたび区民福祉委員会で「飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費の助成に関する陳情」が全会一致で採択され、区独自の補助金（18年より実施）に加えて都の補助金（新制度）にも手を挙げ、活用される運びになりました。ボランティアさんの経済的な負担が少しでも軽くなることを願います。